

第58回 獣医学セミナー

「共生」から捉える環境細菌の病原性

渡邊健太先生
(獣医公衆衛生学)

2016年 4月20日 (水)
17:00-18:00

ICOVER 1階101 (形態構造学実習室)

異種間における「共生」という生存様式は自然界において広く認められる現象であり、近年、様々な分野で着目されている自然現象でもあります。ヒトや動物に感染する病原細菌の中にも、こうした共生という生存様式を採用しているものがあり、その病原性獲得や感染源として、共生が重要である場合も少なくありません。本セミナーでは、ヒトで肺炎を引き起こす病原細菌であるレジオネラ属菌と、一般的で身近な原生生物であるゾウリムシをその宿主とした共生モデルを用いた研究から明らかになった結果をご紹介します。環境細菌の病原性や感染リスクにおいて原生生物宿主が担う役割について考察したいと思います。

★飲み物・おやつを用意します。

教員・学生の積極的な参加をお願いします！★

連絡先：清水 隆 (5895)
大濱 剛 (5906)

共同獣医学部

